

サービス自己評価表

多機能型事業所ひまわり コパンの杜手稲前田

1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい
人数や支援内容に応じて2グループで支援室、遊具室に分かれて活動を行うことでスペースを確保することができています。		

2	職員の配置数は適切であるか	はい
通常の人数は基準を満たすものになっていますが、感染予防の観点より、職員のお休みが重なり出勤人数が減ってしまうような場合には、記録のお渡しを後日にさせていただいたり、活動内容を柔軟に変更し、安全に支援が行えるように対応しています。		

3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい
段差はありませんが、玄関スペースが狭いため、送迎車ごとに靴の着脱を行う工夫をしています。		

4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	はい
目標設定と支援後の反省の場は設けています。送迎や休みで参加できない職員はいるが、随時伝達しています。		

5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい
年度末に行う保護者評価の結果や毎回の連絡帳を見ることで、各職員が保護者様のご意向を共有し、改善に向けての取り組みをしています。		

6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい
実施しております。		

7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	はい
第三者による外部評価は現在は実施しておりません。		

8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい
毎月、事業所内研修を実施しており、全員が参加するよう体制を整えております。		

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	はい
作業療法士を中心に様々な視点から適宜評価を行っています。		

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい
各種評価・検査を実施しております。		

11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	はい
各お子さんの個別支援計画書を作成する際には、職員で話し合い、一人ひとりのお子さんに適した目標・支援内容となるよう心がけています。		

12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	はい
モニタリング会議等で事前に関わり方や支援方法を話し合い、実施できていると思います。		

13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい
送迎などで全員の参加は難しいです、作業療法士や児発管が確認したい運動を伝え保育士さんが遊びにつなげるなどチームで活動プログラムを考えています。		

14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい
目的とする動きを引き出すための活動、また季節を感じる活動を取り入れ、飽きない様に工夫しています。		

15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	はい
お子さんに合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせています。		

16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい
朝礼の際に、当日の流れの確認、職員の配置、個別配慮が必要なお子さんへの対応方法など話し合いをしています。送迎でいない職員にも共有しています。		

17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	はい
改善点、今後に生かせる点について時間の限り話し合いを行っています。		

18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい
毎回の支援の記録は細かく記載するようにし、今後の支援にも生かせるようにしています。		

19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	はい
半年に1回モニタリングを必ず実施し、保護者様にお時間をいただいて面談を実施し、目標の振り返りや新たな目標の確認を行っています。		

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	はい
主に児童発達支援管理責任者、作業療法士を中心に参加しています。		

21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	はい
児童発達支援管理責任者を中心に、関係機関と連携するよう心がけています。		

22	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい
お電話での連絡、送迎時に情報共有を行っています。必要に応じて訪問も行っています。		

23	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい
お電話での連絡や送迎時に情報共有を行っています。必要に応じて訪問も行っています。		

24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	はい
年に1回、児童発達支援センターより訪問をいただき、支援内容を見学していただいたり、運営について助言をいただいております。また、動画視聴による研修などにも申し込み、職員それぞれ受講をしております。		

25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	いいえ
当事業所を利用されているお子さんたちと、保育園児さん・幼稚園児さんが交流する機会は、設けてはいません。		

26	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	いいえ
今年度、協議会や子育て会議などへの参加は実施しませんでした。		

27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい
コパンの連絡帳、送迎時にお子様のご様子を詳しくお伝えするようにしております。また、適宜お電話やメール等で、ご相談にも対応させていただいております。		

28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	いいえ
保護者様からご相談があった際や、こちらが必要を感じた際にはご家庭での取り組みをお伝えしています。		

29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	はい
ご契約時に、保護者様への説明をさせていただいております。		

30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	はい
個別支援計画書の説明の際に、内容についてご質問・不明点がないかをお尋ねし、ご同意頂けるかの確認を行っております。		

31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい
送迎時や連絡帳・お電話等でご相談をお受けした際には、アドバイスや解決方法などお伝えしたり、職員全員で共有し解決方法を考える時間を設けるようにしております。		

32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	はい
先日の保護者向けの勉強会の中で悩み相談できる場面もありましたが、今後、感染状況を鑑みつつ、事業所内で実施出来るように話し合いを行っていきます。		

33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい
利用者や保護者のニーズを聞き入れて、報告や相談には迅速に対応しています。		

34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい
お便りは月1回発行し、保護者に向けて発信させていただいております。		

35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	はい
個人情報の取り扱いはいっしょに出来ています。		

36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい
会議や反省を通してそれぞれの情報を整理して、関わり方の統一や保護者との情報の共有化を行っています。		

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	いいえ
事業所の支援内容として、地域を巻き込んだ行事の開催はしておりません。		

38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	はい
研修や訓練を通して、情報の共有を図ることが出来ています。		

39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい
研修や訓練を通して、情報の共有化を図ることが出来ています。		

40	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	はい
確認出来ています。職員が新たに入職された時などの確認が遅れないように、定期的に全職員に周知していきたいと思います。		

41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	はい
食事の提供、おやつ提供がありませんが、年度の初めに、保護者より、アレルギーについての申告をいただき、把握しております。		

42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	はい
ヒヤリハットの報告や事例を共有しています。また、当事業所のヒヤリハットの報告書集を作成し、全職員が確認をしています。		

43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	はい
年に1回、コパンの杜3事業所合同の研修を行っています。また、役職者が各事業所を訪問しながら、不適切な支援がないかどうか、確認をしています。また、対欧に困るケースは事例検討として取り上げ、他事業所からも意見をもらうなどしております。		

44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	はい
身体拘束を行うケースのお子さんがいなかったため、組織的に話し合い、決定するということはありませんでした。今後、必要性のあるお子さんがいた場合には、組織で話し合いをし、保護者様へのご説明や計画書への記載を行います。		